

トルコギキョウの9・10月出荷に適する品種とLED電照の効果

～ 品種・定植期・赤色LED電照を組み合わせることで高品質安定生産 ～

要約

秋出荷作型は、夏季の高温長日により収穫時期や切り花品質が安定しません。対策として品種選定・定植期の分散・赤色LED電照が有効です。

研究成果の概要

1. 背景・目的

トルコギキョウの秋出荷作型は需要が大きいものの、生育期間の大部分が夏季の高温長日条件下で、開花期が前進し、切り花品質が低下しやすいという問題がありました。そのことから、秋出荷を継続的に高品質安定生産ができる栽培技術の開発に取り組みました。

2. 内容

- 下表の5品種を、時期をずらしながら定植し、品種ごとに生育に応じた赤色LED電照を実施することにより、9～10月に安定出荷ができます。
- 切り花長は、おおむね70～90cm、開花輪数+花蕾数は6～11個となり、単収は2,000～3,000本/aです。

月・旬 品種・花色・早晚性	6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
ラビアーヂュ (ピンク・中晩生)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ファイナル ホワイト (白・晩生)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ブライムホワイト (白・中晩生)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ファイナル ローズ (ピンク・晩生)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
パールラベンダー (紫・中晩生)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

●：定植 ●：赤色LED電照 ■：採花盛期

3. 活用等

電照方法は、赤色LED電球【鍋清(株) DPDL-R-9W】を畦上に2m間隔で高さ1.5mに設置し、定植から発蕾までの期間、タイマー制御で午後4時～翌朝8時まで点灯します。

関連情報

赤色LED電照栽培技術は、令和3年度から中南・西北・三八地域で現地実証が展開されています。各年度の結果は「青森県花のくにづくり推進協議会」発行のパンフレット（県庁農産園芸課、各地域県民局地域農林水産部、農林総合研究所花き・園芸部等で配布）に掲載され、現場で活用されています。